



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
43
2021.3

TOPIC

日本赤十字社兵庫県支部創立130周年記念赤十字大会 社業功労支部長特別感謝状 奉仕団功労の部の表彰を受けて

今年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で各班、例年通りの活動に代わり、勉強会を開いたり、動画を撮ることによって普段見ることが出来ない他の班の奉仕団活動を知る機会にもなりました。「例年通りの活動ができない」という焦りもありましたが、アイデアを出し合っ
て、「どのように工夫をすれば活動ができるのか」ということを考えることで、主体性や行動力、発信力を身に付けることに繋がったと思います。

(学生奉仕団副団長)



佐藤学校長

学生奉仕団長

後期行事予定(令和3年2月~令和3年6月)

2月 12日(月)~クラスII 領域別実習再開
14日(日) クラスIII 第110回看護師国家試験

3月 3日(水) 卒業を祝う会
5日(金) クラスIII 卒業式
20日(土)~4月3日(土) 全クラス 春季休業
26日(金) 看護師国家試験合格発表

4月 6日(火) 入学式
9日(金) 新入生歓迎会
29日(木)~5月5日(水) 保健週間

5月 12日(水) ナイチンゲール祭

6月 クラスI 基礎看護学実習I



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起る、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」「安楽」を第一とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心をもち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

第18回 関西看護学生看護研究大会

発表テーマ

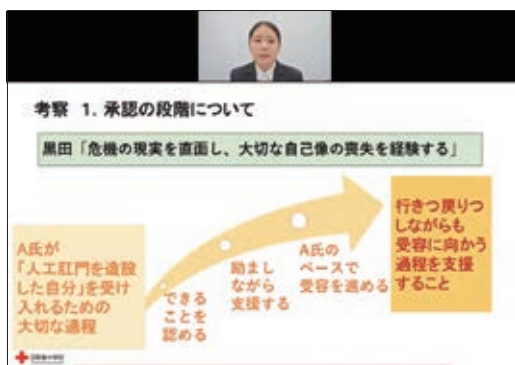
人工肛門造設術を行った患者の受容過程に合わせた関わり ～フインクの危機モデルを用いて～

WEB開催

令和2年10月29日(木) 10時～令和2年11月11日(水) 20時

私は第18回関西看護学生看護研究大会での発表を通して、理論を用いた看護実践の必要性や、実践を振り返ることの大切さを学びました。発表を聴講された看護学生の方々から聴講を通してのお手紙をいただき、発表を通して自分が看護を行う中で大切にしていることをしっかり伝えられたことを実感できてとても嬉しかったです。この経験を大切に、自分の看護観をより深めていけるように励んでいきたいと思います。

(クラスIII)



実習指導を通して

私は日々、学生が看護の楽しさを感じられる実習になってほしいと思いながら指導しています。水口さんは、受け入れが進まない患者にどのように関わればいいのか受け持ち当初は迷っている様子でした。一緒に話し合い、お互いの意見を交わすことで看護の方向性が見え援助に活かせたと思います。看護のやりがいや楽しさを感じてもらえたのではないのでしょうか。これからも積極的に意見交換を行い、よりよい看護につなげてほしいです。

(6階西病棟 看護師)



今回の演題投稿では、12日間の実習で実践した看護を振り返り、水口さんが看護で大切にしてきたこと、これから大切にしていきたいと思っている看護を言語化することができたと思います。この経験は、将来看護師として悩み、躓いたときに必ず自分が立ち戻る看護の原点を明らかにし、今後の看護の基軸になると信じています。

また、今年はCOVID-19の影響で動画配信での発表となりました。発表動画の作成では、実践した看護が視聴者により伝わるよう、何度も修正を繰り返し仕上げました。作成過程での苦労もありましたが、熱心に物事に取り組み頑張る水口さんから私自身もたくさんの学びを得ました。感謝しています。

(専任教師:石谷 尚美)



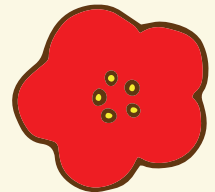
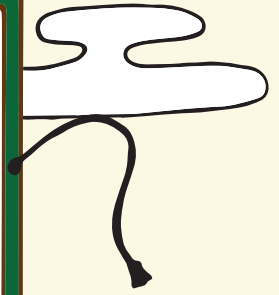
成人式

新成人
の抱負!



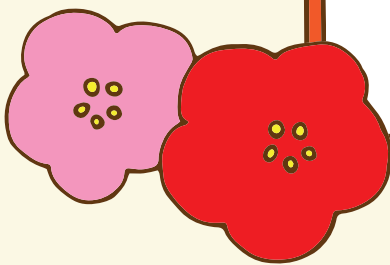
私は1月2日に成人式を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、屋内での式典は行わず、皆で集合写真を撮るだけという形での開催となりました。久しぶりに大好きな友人たちに会えて幸せな時間を過ごすことができました。成人した自覚はまだ持てていませんが、自分の言動に責任を持ち、周りの人を大切に出来る大人になりたいです。また、2月には領域別実習が再開します。患者さんの強みに目を向け、その人らしく生活できるように支援し、思いやりの心を持った看護が提供できるように頑張っていきたいです。

(クラスII)



新型コロナウイルス感染拡大の中、無事に成人式が開催され、感染対策を徹底した上で参加することができました。久しぶりに地元や高校の友達に会い、写真を撮ったり近況を話したりし、有意義な時間を過ごすことができました。20年間私を育ててくれた家族や出会った人、そしてこのような状況の中、実習をさせていただけることに感謝し、これからの新しい学びや出会いを大切にして、立派な看護師になりたいです。

(クラスII)



学生ページは私たちが作りました!



クラスI



クラスII



クラスIII

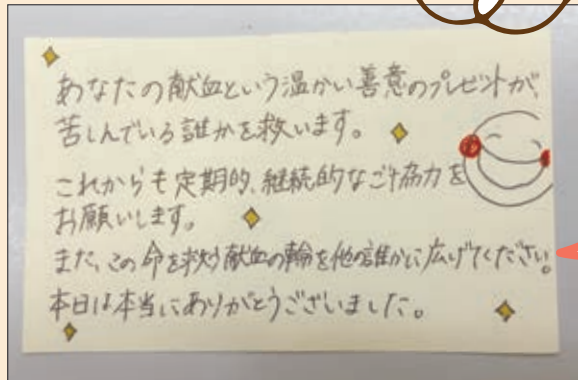
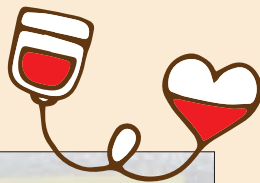




奉仕団活動



献血班



献血に協力してくださった方々に、感謝の気持ちを込めて、手作りのメッセージカードを渡そうと考えています。本来は、姫路みゆき通りで献血に協力していただけるように、献血の呼びかけを行っていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、街頭での呼びかけは現在行えていない状況です。そのため、活動が再開された時に、献血の知識をしっかりと身に付けた状態で呼びかけが行えるように、勉強会を開きました。クイズを作り、学習した知識が身についているかメンバー同士で確認を行うなど、様々な工夫をしながら献血についての知識を深めていきました。

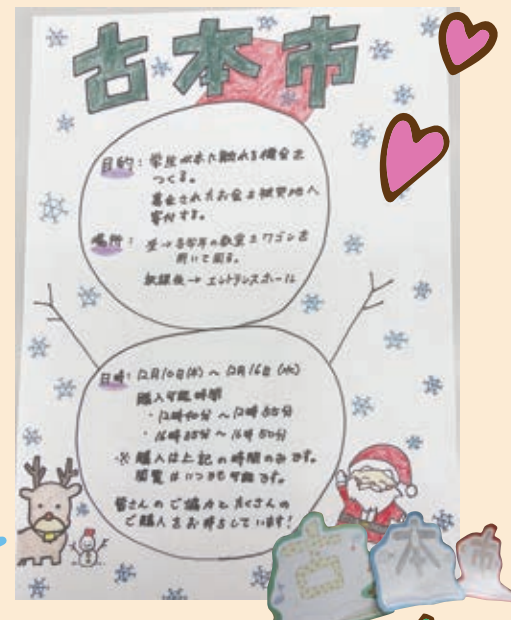
(クラスII)

院内図書班



今年も学生が本に触れる機会を作ることを目的に、古くなった本を販売する古本市を行っています。古本市で集まったお金は、日本赤十字社で募集している直近の災害義援金として送っています。本来は、入院されている患者さんの病室を訪問し、本の貸し出しを行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現在は活動を休止しています。私たちの活動で、患者さんに入院生活の中でも楽しんでいただく時間を作ってほしいという思い、また楽しみにして下さっている患者さんのことを思うととても胸が痛みですが、今は無事に活動が再開される日を願い、再開時には、患者さんにより良い環境で本の貸し出しを行っていただけるように準備に努めたいと思います。

(クラスII)



小児病棟訪問班



子どもたちに季節を感じて楽しんでもらうことを目的に、本来は姫路赤十字病院、保育所で活動していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内での活動となりました。感染対策をしつつ、学生・ご家族の方にも見ていただき、季節を感じてもらいたいという思いで、学内で私たちの活動を撮影したものを期間限定でYouTube配信しました。

今回は12月と言えばクリスマス!ということで、サンタクロースと行動を共にするトナカイにフォーカスを当てた内容の劇をしました。「人形や飾り付けがとても可愛かった」「今まであまり目を向けられていなかったトナカイについての内容で、とても興味深かった」等の沢山の感想をいただきました。実際に子どもたちの元へ行き、活動できる日がいつになるかは分かりませんが、会える日を楽しみに、今後も子どもたちの笑顔を想像しながら活動を頑張っていきたいです。

(クラスII)



戴帽式



今年は新型コロナウイルスの影響があったので、戴帽式の雰囲気だけでなく、感染予防の徹底もするといった多くの要因からとても緊張しました。また、戴帽された時は自身が看護師を目指すきっかけを再び思い返すことができ、これから始まる実習に対しての思いや将来目指す看護師像がより具体的に考えられるようになりました。まだ知識や経験が浅い私たちですが、実習や講義を通して学びを深め、クラスの仲間と共に確実に一歩ずつ前へと進んでいきたいです。

(クラスI)

様々な感染対策をしながら戴帽式を行うことができたこと、とても嬉しく思います。未知のウイルスに翻弄された日々ではありましたが、沢山の人の支えられながら学校生活を送ることができているのだと改めて実感できた機会となりました。ナースキャップを頂けた喜びや緊張感を忘れることなく、先生方や両親、支えてくださる全ての人に感謝し、クラスメイトと切磋琢磨しながら素敵な看護師を目指して頑張りたいです。

(クラスI)



コロナ禍という状況ではありましたが、感染対策が徹底され、素晴らしい戴帽式を開いていただき、先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。無事にクラスの皆と迎えることができ、とても大切な思い出となりました。ナースキャップを頂いた嬉しさと同時に、専門職としての責任を任せられたように感じました。改めて、看護師になるという目標に向かって一歩ずつ頑張っていきたいと思いました。

(クラスI)

撮影時以外は、マスクをして互いに距離を保つなどの対策を行っております。

フローレンス・ナイチンゲール生誕 200周年記念誌に寄せて

私は3年間の学校生活で、同級生や先輩方から様々な考えを聞いたり、実際に実習で患者さんと関わらせていただき、看護について考える機会が多くありました。特に今年は実習を行うことが困難な中、丁寧に指導して下さった看護師さんや先生方、そして多くのことを学ばせていただいた患者さんにとても感謝しています。これから看護師として働く際も、3年間の学びを糧に、患者さんにより良い看護が提供できるよう日々努力したいと思います。

(クラスIII)

私が目指す看護

ナイチンゲール生誕200周年記念誌の投稿にむけて全学生が「私の目指す看護」をまとめました。各クラスから1名ずつ紹介します。

● 生活者として患者を理解すること

私は赤十字の専門学校に入学し、「人道」について考え自分自身の看護観が深まったと思う。一年生の頃から人道とはどのようなことを自分自身で考え、グループワークを行い、本社研修で共有することで、私は「人道」とは、「相手に関心を持ち、思いやりの気持ちを持って行動する」ことであると考えた。最終学年となり、話し合いからだけでなく、実際に実習での患者との関わりから「人道」について考える機会が多くなった。私は看護を実践する上で、患者が今までどのような生活を送られ、どのような経験をされたのかなど、患者の生活背景を知ることが大切だと感じるようになった。患者の趣味や職業、自宅での過ごし方、退院後の楽しみなどを知ること、入院中だけでなく入院前の生活から患者全体をできる限り理解することができる。入院することは患者にとって人生の一部であり、退院後も患者の生活がある。治療を継続しながら、出来る限り安心し、入院前と同じような生活を送るためにも、病気を持つ患者としてのみ捉えるのではなく、生活者としての人間に関心を持ち、その人らしく生きることを支えることが看護であると分かった。このことは、前述した私の考える「人道」に通ずるものがある。生活している人として患者に関心を寄せ、患者がこれからもその人らしく生活できるように支援することを目指すと共に、これからも大切にしたいと思う。



(クラスIII)

● 私が目指す看護

私の夢は、高齢者や認知症患者に関わる看護をすることだ。私が看護師になると思ったきっかけは、認知症の祖父が入院したことだ。祖父は物忘れが酷く、何度も同じことを繰り返して言っていた。そんな祖父に対して、看護師の方は優しく接してくれた。祖父の言動を否定せず、祖父が安心できるような声掛けをしてくれた。祖父が生き生きと入院生活を送れたのは、看護師の方の心のこもった看護のおかげである。患者に寄り添った看護を実際に目にして、認知症患者の看護に魅力を感じた。認知症患者の看護は、他の病棟での看護とは少し異なる気がする。認知症患者は、他の患者に比べて何を必要としているのかわかりにくい。患者をよく観察して、想像力をはたかせることが大切だと考える。私はそのような、「相手とじっくり向き合う看護」をしてみたいと思った。だから、高齢者や認知症患者に関わる看護をしたい。



看護学校に入学してから10カ月が経った。8月下旬には初めての病棟実習も経験した。実習では実際の看護を見学することで、具体的に看護のイメージを掴むことができた。私は実習で、ほぼ寝たきりの高齢者の方への看護を見学した。会話が難しい患者には、ジェスチャーや筆談でコミュニケーションをとられていた。このような、患者に寄り添う姿勢を見て、とても素敵だなと感じた。

看護学校に在学中の3年間は、多くの教員や医療従事者、患者と関わっていくだろう。その関わりのおかげで様々なことを吸収し、己を成長させたい。私の夢である、高齢者や認知症患者に関わる仕事に携われるよう、日々勉強に励もうと思う。

(クラスI)

● 私が目指す看護

看護学生として実習をするなかで、私が今後ずっと大切にしたい出来事が起こりました。それは、なかなか自分から口を開かなかった患者さんが、幸せあふれる顔で孫の話をしている姿です。心からお孫さんを大切にしているのが分かるような微笑みを浮かべておられて、その姿を見た私までもが幸せで、あたたかい気持ちになったのを覚えています。



私はこの経験から、本当に大切なこととはこういうことだと、ハッとさせられました。

当時は、患者さんを受け持ったのが初めてということもあり、病気の悪化を予防したり、症状を軽減するなどといった、マイナスを無くそうとする看護ばかりを行っていました。もちろんそういった看護も大切ですが、それだけではなく、私が経験したあの患者さんの幸せがもっと続くように、孫と会えるように段取りをつけるサポートをすることや、孫からの手紙を預かるなどといった、プラスをさらに大きなプラスへと増やせる看護がしたいと感じました。そして、それができると患者さんにとって療養生活が、単に乗り越えなければならない壁とを感じるのではなく、苦痛があるなかでも幸せを見出すことができ、療養生活が楽しみにさえなるのではないかと思います。

(クラスII)

令和2年度 第1回学校関係者評価会議 開催日 令和2年11月20日(金)

コロナ禍にもかかわらず関係各位のご尽力により無事会議に参加させていただくことができました。心から御礼申し上げます。

会議で日頃の充実した様子を拝見し、改めてここで娘がお世話になってよかったと思いました。臨床経験が豊富、お母さんの存在、熱心で素敵な先生方に囲まれ、看護師になるための学びができる環境にいられることは本当に貴重です。

私も微力ながらお手伝いをさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(クラスI保護者)



2020年は今も猛威を振るうCOVID-19に翻弄された1年であり、それは例外なく姫路赤十字看護専門学校の運営にも大きな影響を受けました。けれども感染予防を図りつつ、分散登校や臨地実習の継続、Web授業並びにWeb授業参観、戴帽式配信などの試み、母体病院協力のもと学生が看護補助者のアルバイト機会を得られるなど、柔軟な対応で進化し続ける組織の素晴らしさを会議に参加した各学年保護者、評価委員全員が実感できるものでした。こうした教育現場に携われることを誇りに感じ、更なる支援に努めたいと思います。

(精神看護学担当非常勤講師
医療法人山伍会 訪問看護ステーション心の駅 管理者: 國永 貴裕)



令和2年度兵庫県看護教員養成講習会 —「看護教育実習」を終えて—

令和2年度は4人の研修生を迎えました。コロナ禍のため、学生と関わる時間は少なかったのですが、授業計画、実習指導計画を立案して授業および実習指導を実施し、教員としてのあり方を学ぶことを目的として、何度も検討を繰り返した結果、達成感の高い実習となりました。

小椋 貴文さん

1月からは正式に学校への異動が決まりました。実習での学びを活かして頑張ります！

林 真奈美さん

実習中は本当に細やかなご配慮を頂き感謝しております。本当に沢山の事を学ばせて頂き、学びの深い実習になりました。新たな気持ちで学生と向き合っていきます！

尾崎 彩さん

思い返すと、貴校で実習させていただいた思い出がとても大きいです。それぞれの場所で、学んだことを活かせるよう頑張ります。

大原 洋子さん

目指す教員像をイメージするとき、いつも貴校の先生方の姿が思い浮かびます。教員というものを意識して、初めて実際の教育現場、教員の姿を見たのが貴校です。私は、しばらく現任教育を担当しますが、貴校での経験を活かして、貴校の先生方のように成長できるように頑張ります。沢山の経験、心くばりをして頂き、本当にありがとうございました。



左から小椋 貴文さん、林 真奈美さん、尾崎 彩さん、大原 洋子さん
撮影時以外は、マスクをして互いに距離を保つなどの対策を行っております。

統合実習を終えて

統合実習では、多重課題において優先順位をつけながらチームで看護を展開することの大切さを学びました。リーダー業務を経験したり、患者さんにとって何が必要であるのかを考え、医療チームの一員として退院調整カンファレンスに参加させていただきました。そこで主体的に自分たちの意見を伝えることができました。

今までの実習での経験を活かし、今後も患者さんに寄り添うことのできる看護を提供していきたいと思います。

(クラスⅢ)



例年通りではない2020年度。未来の後輩を育てるため、臨床側も試行錯誤でした。統合実習も直前で予定を変更し、皆が戸惑ったと思います。しかし終わってみれば、両者から良かったと言う意見が多くほっとしています。

今年度は、指導者が学生の状況を理解し指導に携わる事の重要性を再確認できた年でした。学生も責任ある専門職を目指す者として、自身の体調管理の意味など、多くの学びがあったのではないのでしょうか。4月の入職を楽しみにしております。

(看護係長：唐鎌 雅代)



令和2年度 新型コロナウイルス感染症に関する補助事業について

新型コロナウイルス感染症に関する補助事業として、国や自治体、日本学生支援機構等から支援があり、学生の学習機会を確保するために活用させていただきました。

■教育施設対象 兵庫県企画県民部補助金(令和2年度)

1. 令和2年度専修学校等遠隔授業環境整備事業

1) 補助対象設備

専修学校等が遠隔教育を実施するための環境整備に必要な機械、器具その他設備

2) 補助額等

(1) 補助額：500千円を上限として予算の範囲内で配分
(1事業の下限額：100万円)(補助対象経費の1/2以内)

2. 令和2年度私立専修学校等学校再開支援事業

1) 補助対象経費

私立専修学校等の設置者が学校再開に伴う感染症対策及び学習保障等の取組を実施する場合に要する経費

2) 補助基準額 補助率

1,000千円 1/2(補助限度額500千円)

■学生対象

1. 学生支援緊急給付金給付事業「学びの継続」(文部科学省(日本学生支援機構へ提出))

1) 事業内容 ※現在受付はありません
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、世帯収入・アルバイト収入の大幅な減少により、修学の継続が困難になっている学生へ現金を支給する事業

2) 支給金額

住民税非課税世帯の学生 20万円
それ以外の世帯の学生 10万円

2. 新型コロナウイルス感染症対策助成事業(日本学生支援機構)

1) 事業内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済的に困窮し修学の継続が困難となっている学生に対し、継続的な支援を行うことを目的とした「新型コロナウイルス感染症に係る寄付金」による事業

2) 支給額

学生一人 3,150円

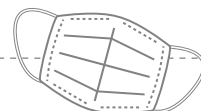
3. 緊急学生支援給付金(姫路市)

1) 事業内容

新型コロナウイルス感染症拡大により、経済的に厳しい環境におかれた大学生等に給付金を支援し、修学継続を支援する

2) 給付額

3万円
※対象者限定あり
※現在受付はありません



編集後記

兵庫県にも2度目の緊急事態宣言が発出され、今年はCOVID-19の影響で生活が大きく変わりました。カリオンの編集に携わる中、今年度を振り返ると、このコロナ禍だからこそ経験できた事、挑戦したことがあったように思います。負の側面のみに注目して閉塞感と負担感に終わるのではなく、発想を転換しピンチをチャンスに変えられる私でいたいと思いました。この度もいつもと変わらず、カリオンを発刊できることを皆様に感謝致します。

(専任教師：石谷 尚美)